

入院診療計画書(気管支鏡一泊入院)

ID番号

@PATIENTID

氏名

@PATIENTNAME

様

症状

@PATIENTWARD

病棟

@PATIENTROOM

号室

担当医師

@USERNAME

担当看護師

@SYSDATE

月日	／（気管支鏡検査当日）		／
経過	 検査前	検査後	検査後 1 日目 
目標	検査内容を理解し、心身ともに安心して検査を受けられる。		退院することができる。
検査	- 気管支鏡前にレントゲンを撮影します。 - 透視室または呼吸器内科外来で、気管支鏡の検査を行います。 		レントゲンを撮影します。その結果で退院の許可が出ます。 
処置	検査前の処置は、呼吸器内科外来で行います（「気管支鏡検査を受けられる患者さまへ」パンフレット参照）。 1. 気管支鏡がスムーズに喉を通るように、吸入を行います。 2. 透視室または呼吸器内科外来に移動します。 3. 医師がスプレーを使って、喉の奥に麻酔をします。 		
観察	- 検査前に、病室で熱や脈拍、血圧、体中の酸素量を測ります。 - 検査中は、血圧や酸素の状態を確認するモニターを付けます。 	検査終了後は、病室に戻ります。熱や脈拍、血圧、体中の酸素量を測ります。酸素量を測るモニターをつけながら1時間はベッド上で安静にしてください。 	朝、体温・血圧・脈・酸素量などを測定します。 
注射	- 検査前に点滴をします。 - 点滴からの鎮静（検査の苦痛を減らすための処置）の薬を投与します。 	検査2時間後、水分摂取してむせがなく、発熱がなければ点滴を抜きます。	
内服	朝の薬は制限ありません。いつも飲んでいる薬があれば内服してください。 	検査2時間後飲食の許可があれば、いつも飲んでいる薬を内服してください。	退院後の外来受診日前に次の様な症状がある時は、下記に連絡後早めの受診をお願いします。 ※38.0℃以上の熱が3日以上続く時。 ※突然の胸痛やひどい咳がある時。 ※血痰が続いたり、呼吸困難がある時。 【昼間】呼吸器内科外来 024-547-1219 【夜間】6階西病棟（呼吸器内科） 024-547-1612
食事	- 朝食はいつも通りに食べて構いません。その後は何も食べないでお待ち下さい。 - 水分（水やお茶、スポーツドリンクなど）は、午前11時まで飲んで構いません。それ以降は何も飲まないでお待ちください。  	- 検査後2時間は何も口にできません。 - 検査後2時間が経過したら、看護師見守りのもと水分を摂取します。むせがなければ飲食ができます。  	
行動	- 検査に行く前にトイレを済ませてください。 - 入れ歯がある方は外してください。 - ボタンや金具のついた服は着用せず、病衣を着用してください。 - 湿布やカイロも外してください。 - 化粧は落としてください。	- 検査終了後から病棟に戻るまでは車椅子かストレッチャーで移動します。 - 検査後1時間は病室のベッドで安静になってください。動きたいときは看護師に連絡してください。眠気が覚めたらトイレなどに歩くことができます。   	制限ありません。帰宅後、入浴も可能です。  
説明	看護師から入院生活と気管支鏡検査、歯磨き指導についての説明があります。 	37.0℃台の微熱が出ることや、血液の混じった痰が見られることがあります。通常は自然に治まりますが、確認のため看護師にお知らせください。胸部痛や胸の違和感があるときも看護師にお知らせください。	退院後の外来受診日の予約票をお渡しします。「気管支鏡検査を受けられた方へ」のパンフレットにそって説明があります。 

注1）病名は現時点で考えられるものであり、今後の検査等を進めていくにしたがって変わり得るものです。
注2）入院期間については現時点で予想されるものです。
注3）特別な栄養管理の必要性については、電子カルテ等様式の変更が直ちにできない場合は、食事の欄に記載してもよい。

福島県立医科大学附属病院 / バス承認番号（№81） 承認月日（18年4月11日）

特別な栄養管理の必要性	有 ・ 無
-------------	-------

上記内容について説明を受け同意いたしました。

署名：	続柄：
-----	-----